

# 大分県における 地域ケア会議普及にかかると市町村支援

| 地域ケア会議と自立支援型ケアマネジメントの推進 |

大分県福祉保健部

高齢者福祉課 地域包括ケア推進班 田井 祐二

# 大分県の概要

## 九州



- 大分県は「アジアの玄関口」である九州の北東部に位置し、北側は周防灘に、東側は伊予灘、豊後水道に面している。
- 人口が最も多い市町村は県庁所在地である大分市
- 総面積は約6,340km<sup>2</sup>で、面積が最も広い市町村は佐伯市 | 九州一 |

## 大分県内



## ■ 市町村数 18市町村

※平成の大合併前は58市町村 | 11市36町11村 |

## ■ 総人口 約117万人

➤ 高齢者人口 約33.5万人

➤ 高齢化率 28.6% | 全国平均 25.1% |

➤ 要介護認定者数 約6.7万人

➤ 要介護認定率 19.6% | 全国平均 18.2% |

➤ 第5期介護保険料 5,351円 | 全国平均 4,972円 |

## ■ 地域包括支援センター数 55

➤ 直営 6

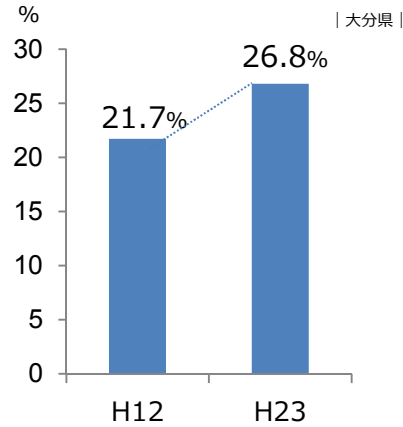
➤ 委託 49

※総人口、高齢者人口、高齢化率はH25年10月1日現在、要介護認定者数・要介護認定率 | 第2号被保険者含む | はH25年度末現在、地域包括支援センター数はH26年4月1日現在

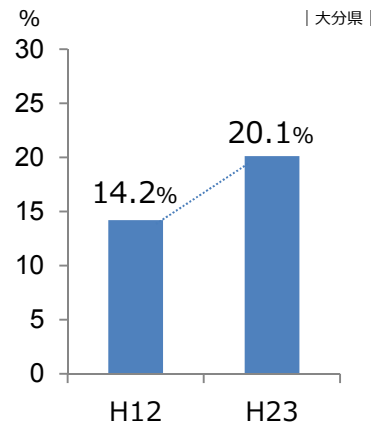
# 地域ケア会議導入の背景

## ▶ 地域包括ケアシステムの構築と介護保険制度の持続可能性の確保

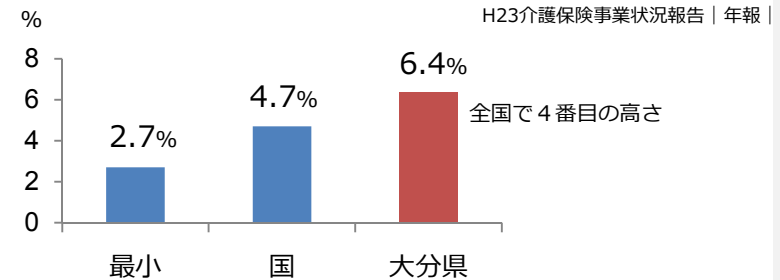
### 1. 高齢化率



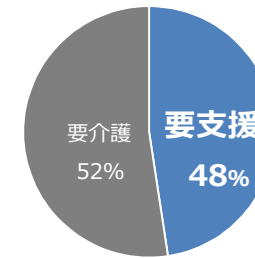
### 2. 要介護認定率



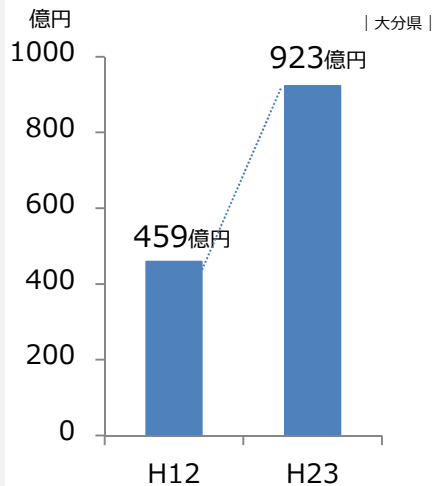
### ▶ 要支援者の認定割合が高い



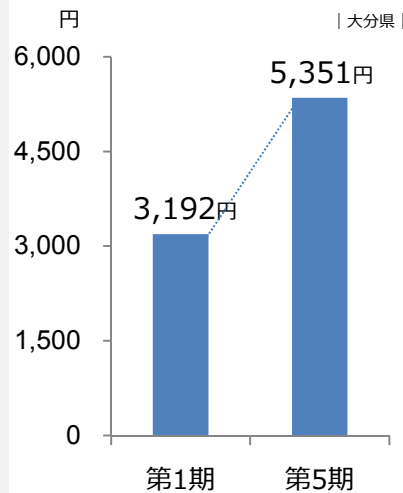
### ▶ 新規認定者の約50%が要支援者



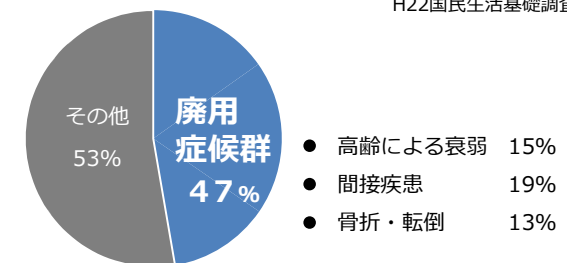
### 3. 介護給付費



### 4. 介護保険料



### ▶ 要支援者の約50%は廃用症候群



### ▶ 要支援者の改善率が低い | 6.5% | H23 |

# 地域ケア会議の目的と内容

## ➤ 要支援・要介護者を元気に！

理学療法士・作業療法士  
管理栄養士・歯科衛生士  
言語聴覚士・薬剤師 等

例

要支援



### 地域ケア会議

市町村  
(保険者) 地域包括支援センター



ケアプラン作成者 サービス事業所 等

#### 介護保険の基本理念 = 自立支援

##### ◆ 第二条第二項 | 介護保険 |

前項の保険給付は、要介護状態又は要支援状態の軽減又は悪化の防止に資するように行われるとともに、医療との連携に充分配慮して行われなければならない。

##### ◆ 第四条 | 国民の努力及び義務 |

国民は、自ら要介護状態となることを予防するため、加齢に伴って生ずる心身の変化を自覚して常に健康の保持増進に努めるとともに、要介護状態となった場合においても、進んでリハビリテーションその他の適切な保健医療サービス及び福祉サービスを利用することにより、その有する能力の維持向上に努めるものとする。

◆多職種協働による協議

◆自立を阻害する要因の追求

◆医療との連携

◆インフォーマルサービスの活用

◆地域課題発見・解決策の検討

◆参加者のOJT

ケアプランの実行・評価・見直し

高齢者のQOLの向上

# 平成24年度の取組

H24地域包括支援センター機能強化事業 当初予算額 4,132千円 | 新規 |

## ◆モデル3市 | 豊後高田市 | 杵築市 | 豊後大野市 | における地域ケア会議の立ち上げ・定着支援

### ● 先進地講師の派遣 ▷ 計9回派遣 研修参加延べ800名

内容 | 講演及び地域ケア会議の助言・指導

### ● リハ職等の派遣 ▷ 延べ295名

| 派遣内訳 | ※派遣に際して関係協会に協力を依頼

理学療法士 | 61名 | 作業療法士 | 52名 | 管理栄養士 | 66名 | 歯科衛生士 | 116名 |

### ● モデル事業連絡会議の開催 ▷ 計4回開催

内容 | 各モデル市の地域ケア会議等の実施状況、意見交換、課題共有

モデル3市開催実績 | H24年度 |

◆ 開催回数 112回

◆ 検討件数 467件



モデル市での研修会の様子 | 地域ケア会議 |  
| 豊後高田市 |

## ◆全県下への普及促進

### ● 市町村ヒアリング ▷ モデル3市以外の市町村

内容 | 地域ケア会議の実施予定、介護予防事業の実施状況等

### ● 市町村長訪問 ▷ モデル3市以外の市町村

内容 | 地域ケア会議の趣旨、内容、必要性等について説明

### ● 地域ケア会議等に関する研修会の開催 ▷ 計7回 参加延べ920名

対象 | 全市町村及び地域包括支援センター

### ● 先進地視察 ▷ 希望市町村及び地域包括支援センター等 計15名 | 6市及び県

※視察後、視察を行った市町村を中心に「地域包括ケア市町村連絡会議」の立ち上げ | 市町村独自の連絡会議 |

### ● 事業所トップセミナーの開催 ▷ 参加者計450名

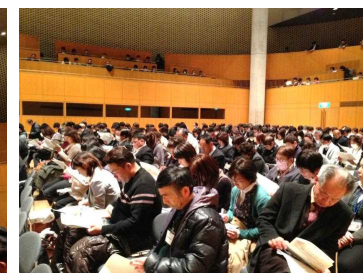
対象 | 県内の介護保険事業所開設者・管理者

### ● 地域包括ケア広報キャラバン | 県民向けセミナー | の実施 ▷ 計2回 | 参加計 250名

内容 | 県、市町村、地域リハ広域支援センターの取組説明と介護予防体操実演 ※圏域毎に開催



事業所トップセミナーの様子①  
| 公開模擬地域ケア会議 |



事業所トップセミナーの様子②  
| 会場 |



地域包括ケア広報キャラバンの様子

# 平成25年度の取組

H25地域包括支援センター機能強化事業 当初予算額 27,578千円

## ◆全市町村における地域ケア会議の立ち上げ・定着支援

### ● 先進地講師の派遣 ▷ 計8回派遣 | 研修参加延べ 1,441名

内容 | 講演及び地域ケア会議の助言・指導

### ● リハ職等の派遣と育成 ▷ 派遣延べ 894名 | 14市町 ※県リハビリテーション支援センターに事業委託

◇派遣内訳 | 理学療法士 164名 | 作業療法士 154名 | 管理栄養士 295名 | 歯科衛生士 281名

※円滑な派遣調整を行うため「派遣調整会議」を開催 | 参加者：県リハセンター、関係協会長、市町村、県

◇研修内容 | 地域ケア会議に関する講義及び地域ケア会議の実演 | 計5回開催 参加延べ541名

### ● 広域支援員の派遣 ▷ 計26回・延べ51名派遣 | 研修参加延べ 2,103名

広域支援員の職種 | モデル市 5名 | 理学療法士 4名 | 作業療法士 6名 | 管理栄養士 3名 | 歯科衛生士 4名 |

### ● 地域ケア会議及び自立支援型ケアマネジメントに関する研修会の開催

◇全市町村及び地域包括支援センター対象分 | 計5回 参加延べ517名 ※各市町村及び保健所圏域毎に別途開催

◇介護サービス事業所対象分 | 計15回 参加延べ699名 ※大分県社会福祉介護研修センターに事業委託

### ● 市町村・地域包括支援センター連絡会議の開催 ▷ 計2回開催 | 参加延べ289名

内容 | 各市町村における地域ケア会議等の実施状況、意見交換、課題共有

### ● 先進地視察 ▷ 希望市町村・地域包括支援センター・リハ職等 計26名 | 4市・4協会及び県



派遣調整会議の様子



専門職種向け研修の様子



栄養 歯科 OT PT 司会  
(地域ケア会議実演)

広域支援員派遣の様子

## ◆関係機関の連携促進と県民への普及啓発の推進

### ● 地域包括ケア推進大会の開催 ▷ 参加延べ200名

対象 | 各市町村長、行政、医療、介護、福祉関係団体及び一般県民

内容 | 特別講演 | 厚労省老健局長 原 勝則氏

| 県内の取組報告 | 杵築市 江藤 修氏、デイサービスセンター楽 佐藤 孝臣氏

| 老健局長と市町村長の意見交換



知事視察 | 杵築市、デイサービスセンター楽 |



老健局長と市町村長の  
意見交換の様子

### ● 地域包括ケア広報キャラバン | 県民向けセミナー | の実施 ▷ 計7回 | 参加延べ1,190名

内容 | 県、市町村、地域リハ広域支援センターの取組説明 ※H24~25年度 合計9回開催 | 参加者延べ1,440名

# 地域ケア会議等の実施状況

市町村名	H25年度					H26年度	現行の総合事業 の実施状況	新しい総合事業 の実施予定
	開始時期	開催頻度	開催回数	検討件数	参加総数	開催頻度		
姫島村	H24以前	月1回	12	9	312	月1回	なし	H28年度中
<b>豊後高田市</b>	<b>H24.2</b>	<b>月2回</b>	<b>18</b>	<b>83</b>	<b>350</b>	<b>月2回</b>	<b>H25.4～</b>	<b>H27.4～</b>
<b>杵築市</b>	<b>H24.2</b>	<b>週1回</b>	<b>48</b>	<b>217</b>	<b>1,069</b>	<b>週1回</b>	<b>H24.10～</b>	<b>H27.4～</b>
<b>豊後大野市</b>	<b>H24.4</b>	<b>週1回</b>	<b>43</b>	<b>127</b>	<b>813</b>	<b>週1回</b>	<b>H26.4～</b>	<b>H28年度中</b>
臼杵市	H25.4	週1回	44	165	767	週1回	なし	H27.4～
津久見市	H25.4	月2回	21	80	411	月2回	なし	H28年度中
別府市	H25.4	月2回 (中央会議)	23	138	693	月2 (中央会議)	なし	H27.4～
宇佐市	H25.8	年4回	4	8	60	年6回	なし	H27年度中
国東市	H25.9	週1回	25	99	504	週1回	なし	H27.4～
九重町	H25.9	月1回	7	22	91	月1回	なし	未定
中津市	H25.10	週1回	22	93	616	週1回	なし	H27.4～
日出町	H25.10	月2回	12	47	261	月2回	なし	H27.4～
玖珠町	H25.10	月1回	6	18	116	月1回	なし	H27年度中
佐伯市	H25.11	週1回	19	70	610	週1回	H26.4～	H27.4～
竹田市	H25.11	月2回	10	18	246	月2回	H26.10～	H27.4～
日田市	H26.1	月2回	6	13	178	月2回	なし	H28年度中
由布市	H26.3	月2回	2	6	36	月2回	なし	H27年度中
大分市	H26.5	—	—	—	—	年6回	なし	未定

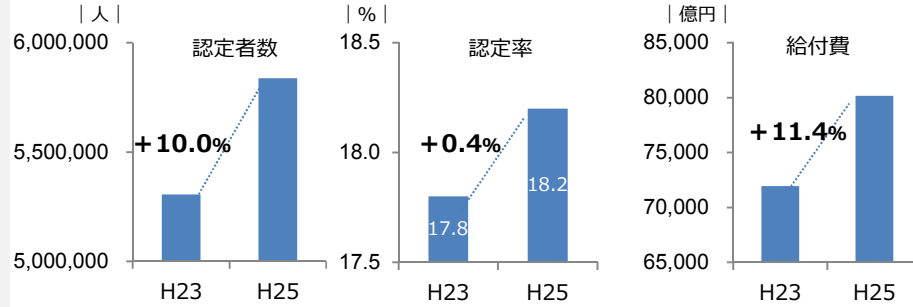
計 322回 1,213件 7,133名

※新しい総合事業の実施予定についてはH26年9月現在

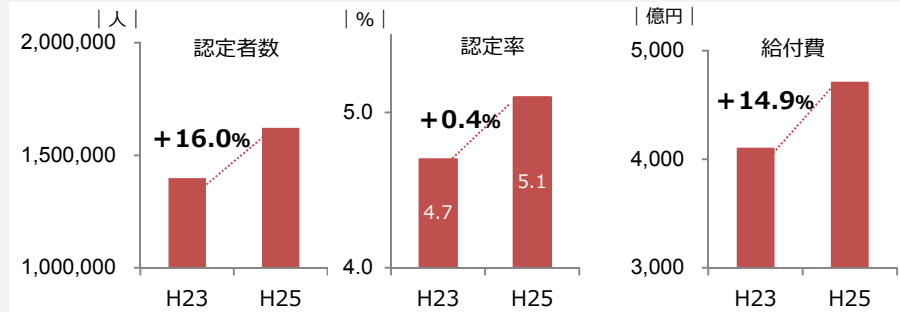
# 認定者数 | 認定率 | 給付費の推移

➤ 要支援の改善者の増加 | 県 6.5%→8.2% | モデル3市 7.5%→10.1% | | H23→H25 |

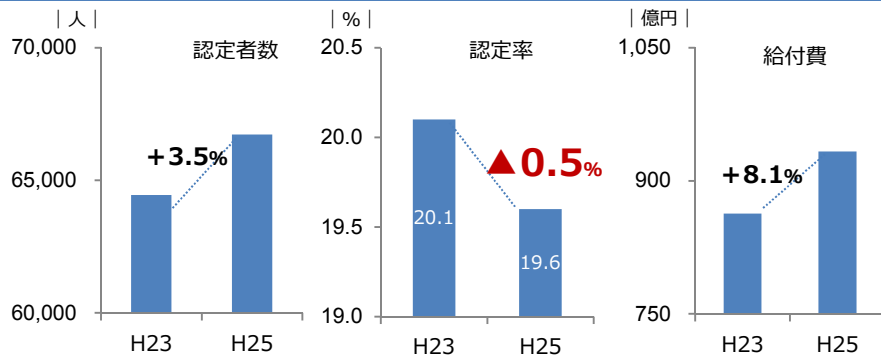
## 国 | 全体 |



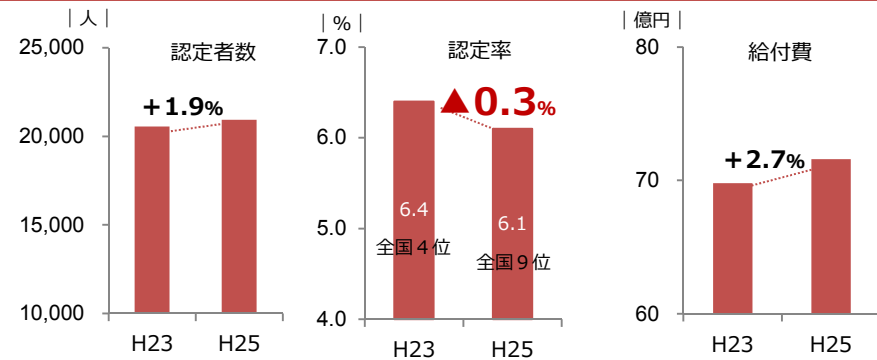
## 国 | 要支援 |



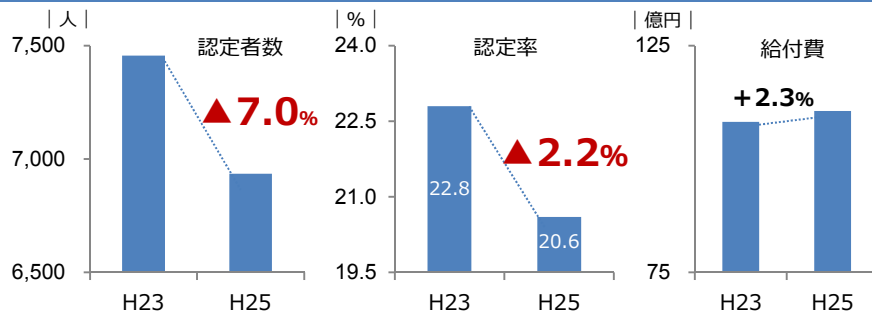
## 県 | 全体 |



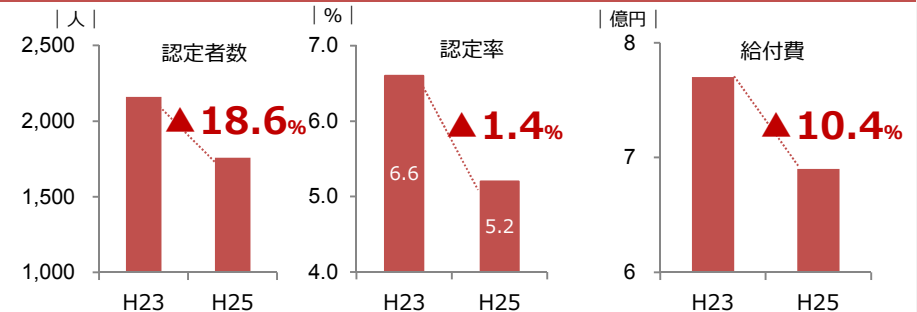
## 県 | 要支援 |



## モデル3市 | 全体 |



## モデル3市 | 要支援 |

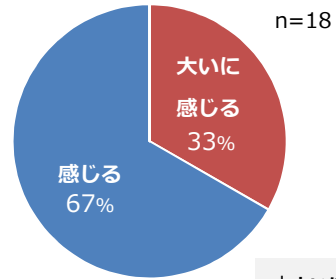


※1 認定者数、認定率 | 第2号被保険者含む | については介護保険事業状況報告 | 年報 | ※2 介護給付費については高額介護、高額医療合算介護、特定入所者介護サービス費を含まず、H25全国計は月報より

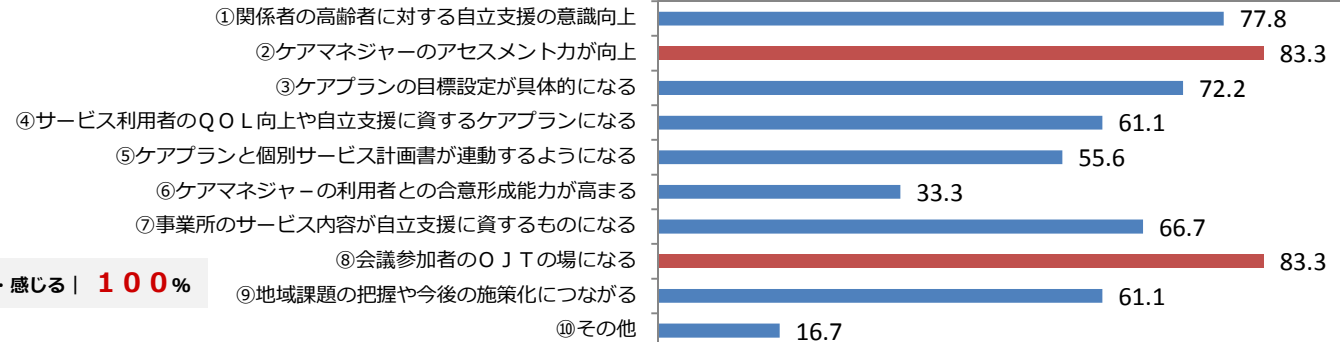


# アンケート | 市町村

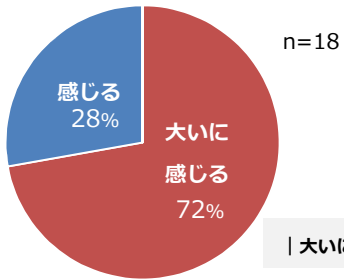
## 1. 地域ケア会議開催による効果を感じますか？



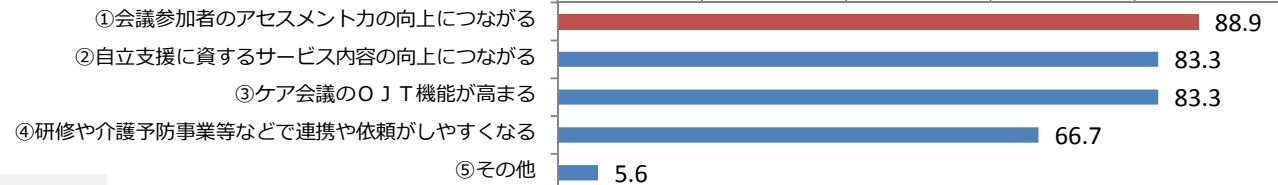
| 大いに感じる・感じる | 100%



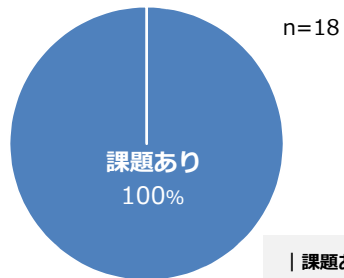
## 2. リハ職等の参加により地域ケア会議が充実すると感じますか？



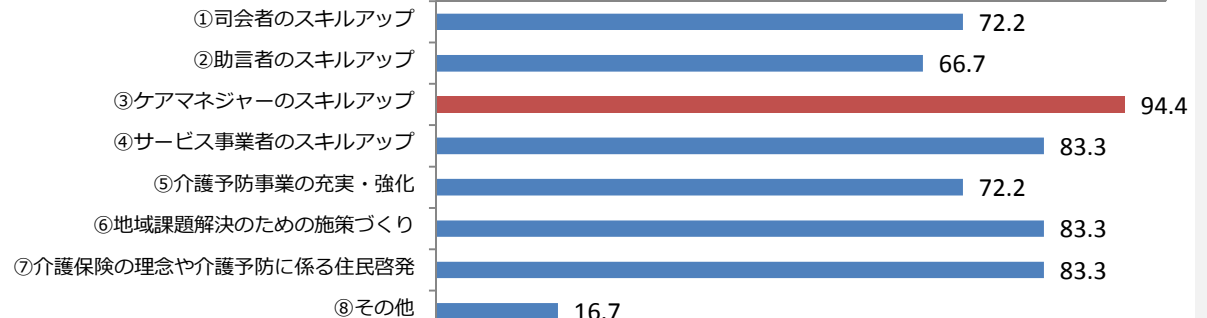
| 大いに感じる・感じる | 100%



## 3. 今後の地域ケア会議に関する課題について

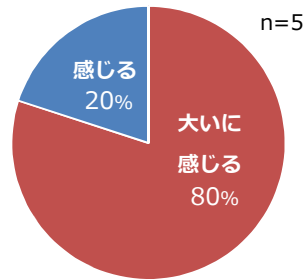


| 課題あり | 100%



# アンケート | 関係協会

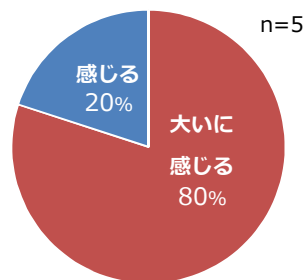
## 1. 地域ケア会議への参加による助言者及び貴協会としての成果を感じていますか？



| 大いに感じる・感じる | 100%

- 開始時と比較してケアマネジャーのアセスメント能力や自立支援型ケアプラン立案能力が向上した。
- サービス事業所のサービス内容について自立支援に向けた取り組みがなされるようになった。
- 地域ケア会議に参加することで協会のOJTの場にもなっている。
- 様々なケースを通じて口腔環境や機能維持向上の重要性が同席者の他職種に浸透してきた。
- 歯や口腔を診ることが中心の意識から「暮らしを支える」職種としての認識を持つ人材が増えている。
- 地域ケア会議に関する研修会を協会内で定期的に開催することにより、協会員一人一人の意識が向上した。
- **地域ケア会議への取り組みは少なからず、われわれの日常業務へ影響を与え、自立支援や介護保険料などを含めた地域社会への貢献の仕方考えるようになった。**

## 2. 地域ケア会議開催によって、保険者（市町村）に変化が生じていると感じますか？



| 大いに感じる・感じる | 100%

- コーディネーターとしての技術も向上しアセスメントの考え方やケアプランへの助言能力が向上した。
- 個別ケースの課題整理がスムーズとなり議論が深まるようになった。
- 助言者に対して自立支援に資する助言を求める機会が増えている。
- 医療、ケア、リハの視点で会議が進行されている。
- **保険者の熱意や力量等が問われていると危機感を持っている。**
- **市町村独自の取り組みが見られ、いい意味で市町村間で切磋琢磨があるように拝察する。**
- 保険者（市町村）と共通言語（専門用語）で話ができるようになった。
- 常にわれわれ（リハ職等）をどう有効活用するか考えていると感じられる。
- **ケアプランを通じて地域の課題をみつけて対応すべく努力をしている。**
- 会議を通じて今まで見えなかった社会資源が見えてきている。
- 地域課題を発掘する場となっている。
- 地域ケア会議の場は地域課題抽出の場でもあるといった共通認識は定着した。
- **保険者 | 市町村 | によって差が開いてきている。**

# 今年度の取組

H26地域包括ケアシステム構築推進事業 当初予算額 39,147千円 | 新規

## ◆地域ケア会議の充実・強化

### ● コーディネーターの養成研修の実施

対象 | 市町村・地域包括支援センター

### ● アドバイザーのスキルアップ研修の実施

対象 | 理学療法士、作業療法士、管理栄養士、歯科衛生士、言語聴覚士等の専門職

**協会独自の研修会の実施状況** ※人数は延べ数

| H24~H25 | PT▷6回 383名 | OT▷8回 444名 | 栄養▷6回 794名 | 歯科▷13回205名 | ST▷21回 265名 |  
| H26 予定 | PT▷4回 243名 | OT▷4回 322名 | 栄養▷3回 331名 | 歯科▷7回270名 | ST▷18回 432名 |

### ● 広域支援員派遣事業の強化

◇コーディネーター等に対して助言・指導を行う **リーディングコーディネーター**の創設

◇アドバイザー等に対して助言・指導を行う **リーディングアドバイザー**の創設

職種 | 行政 1名 | 地域包括 1名 | 理学療法士 6名 | 作業療法士 8名 | 管理栄養士 3名 | 歯科衛生士 7名 |

### ● 自立支援型ケアマネジメントの一層の推進

◇市町村、地域包括支援センター、ケアマネジャー、介護サービス事業所を対象にした研修の充実



第1回コーディネーター養成研修  
参加100名



第1回アドバイザースキルアップ研修  
参加300名



介護サービス事業所向け研修  
参加1,200名 | 予定 |



介護事業所独自の報告会の様子  
参加600名

## ◆地域課題の解決支援と関係機関のさらなる連携強化

### ● 地域課題の解決に向けた市町村支援 ▷ 地域包括ケアシステム構築支援事業費補助 | 30,000千円

対象 | 地域ケア会議を積極的に取り組む市町村

補助内容 | 地域包括ケアに資する新たな生活支援サービスの立ち上げや拠点の整備

### ● 大分県地域包括ケア推進会議 | 県レベルの推進会議 | の立ち上げ

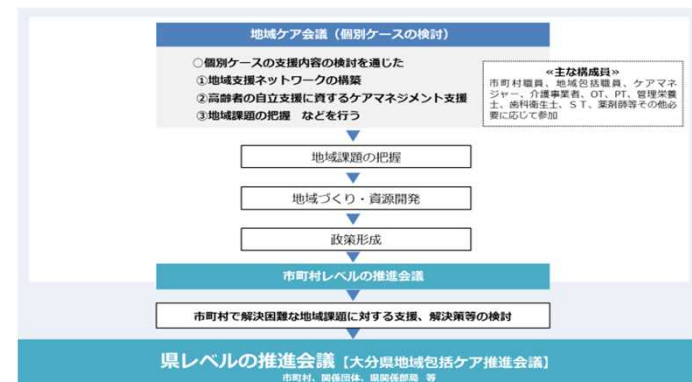
内容 | 各市町村の地域課題の把握と市町村単独では対応できない地域課題の解決支援 等  
構成員 | 県、市町村、関係団体

### ● 第2回地域包括ケア推進大会の開催

対象 | 各市町村長、行政、医療、介護、福祉関係団体及び一般県民

内容 | 特別講演 | 慶應義塾大学名誉教授 田中 滋 氏

県内取組報告 | 臼杵市医師会立地域包括支援センターコスモス 管理者 石井 義恭 氏  
| 臼杵市医師会立コスモス病院 リハビリテーション部 室長 竹村 仁 氏

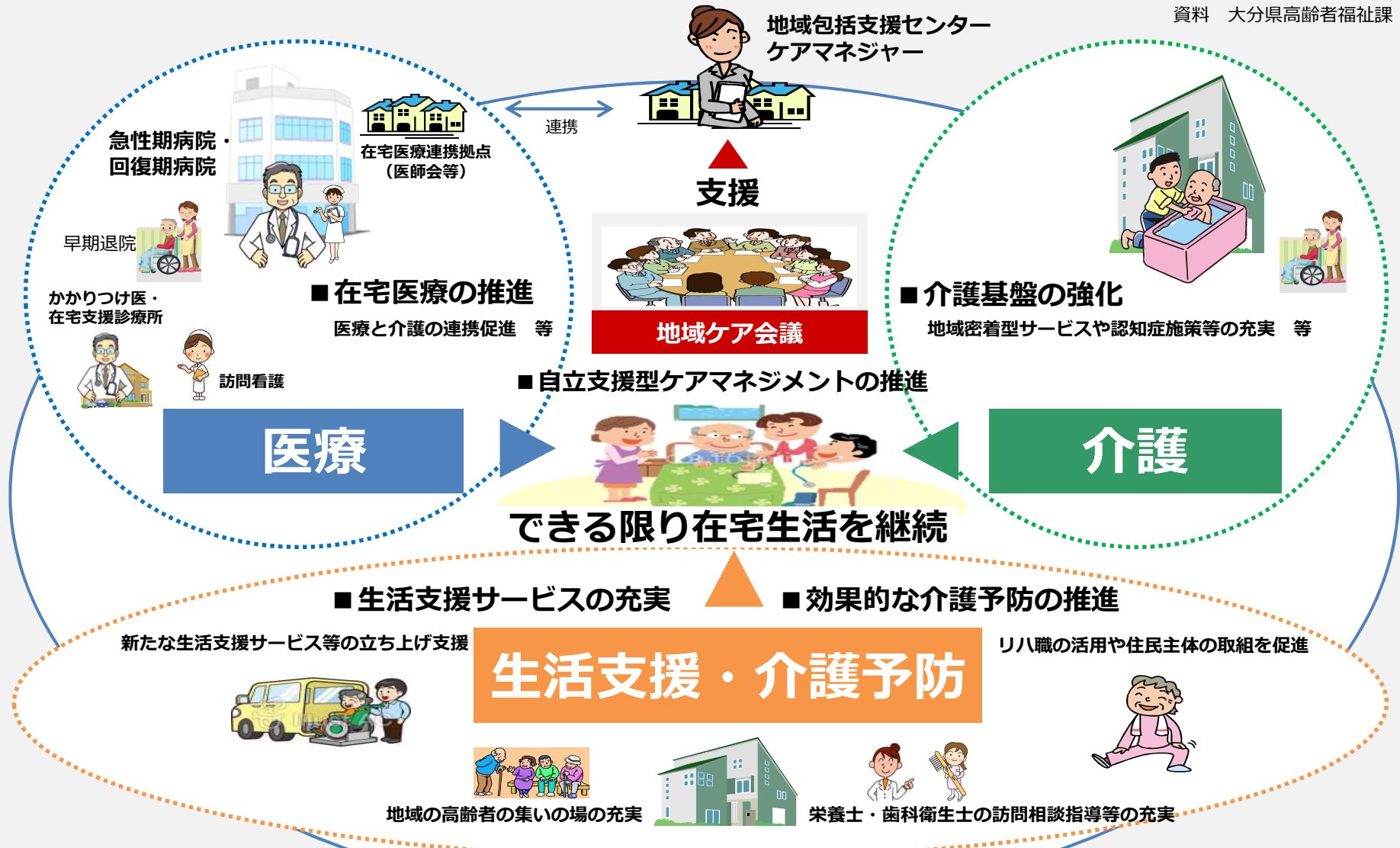


大分県地域包括ケア推進会議イメージ図

# 地域ケア会議から地域包括ケアシステム構築へ

## 地域包括ケアシステム | 日常生活圏域 |

資料 大分県高齢者福祉課



安心して暮らせる住まい

